

# 令和6年度社会福祉法人 桜丘会事業計画書

## 1. 法人の運営方針

令和6年度は、介護保険制度改正・報酬改定が行われる年で、しかも6年に1度というトリプル（医療・介護・障害福祉）報酬改定の年でもある。介護保険が平成12年に導入されてから3年に1度というスパンで報酬改定が行われてきて、今回で9回目を迎えた。見切り発車的な形でスタートした介護保険制度だが、必要に合わせて新しい考え方を取り入れ様変わりしてきているように見えるが、介護の目的がご利用者の自立支援というところは一貫している。

今回の改定のポイントは、①改定率がプラス1.59%②処遇改善加算の見直し③生産性向上による働きやすい職場づくり④医療と介護の連携⑤リハ・口腔・栄養の一体的取組・・・となっている。質の高いサービスを継続的に提供するためには、働きやすい職場づくりと処遇の改善が必要という考え方で①②③の改定に繋がり、医療と介護の連携は、年齢がいくほど医療ニーズだけの人、介護ニーズだけの人が多く、二つのニーズがセットでカバーできないと超高齢者の生活は支えられず、医療と介護の連携はこれからも顕著になり、この関係は日本の介護分野の特徴でもあると言われている。

これまでになく、職員確保が困難な時代となり職場環境の改善は喫緊の課題である。離職防止・定着促進・生産性向上、外国人材受入れなど総合的な介護人材確保対策に取り組んでいくこととする。

その介護人材確保として、当法人では今年度も外国人技能実習生の採用を継続する。これまで採用した1期生2名（ベトナム）は特定技能実習生となり、結婚をして秋田に定着をしていく方向である。2期生2名は県外の施設へ転職、3期生1名（ベトナム）は特定技能実習生となり桜の園へ、昨年採用の4期生の2名（ミャンマー）で、現在5名の実習生を雇用している。5期生となる今年度の技能実習生2名は、ミャンマーからの採用が決定。6月には入国してくる予定である。

処遇改善加算の見直しで、介護職員が配置されている施設（老健・通所、特養、グループホーム、小規模多機能）に介護職員処遇改善加算、介護職員等特定処遇改善加算、介護職員等ベースアップ等支援加算が支給されてきたが、6月よりこれが一本化となり事務負担が軽減されることとなった。また、介護員だけでなく全職員対象に支給できることにもなり、基本給の見直しも行っていきたいと考える。

介護現場での生産性向上とは、介護ロボット等のテクノロジーを活用し、業務の改善や効率化を進めることにより、職員の業務負担の軽減を図り、それによって生み出された時間を直接的な介護ケアの業務に充て、ご利用者と職員が接する時間を増やすなど、介護サービスの質の向上にも繋げていくことであり、そのために今年度も現場で必要な機器の購入を行っていく。

また、法人全職員のキャリアパス制度の構築を今年度も実施していく予定で、特養八橋の業務標準作成は引き続き行う予定である。

研修面では、今年度より1年間で全職員が受講すべき内部研修が5種類×2回以上あり、それぞれの事業所において、管理者が責任を持って計画実施するようにしなければ介護報酬の減算となってしまうので、注意が必要である。

昨年は、当法人の3事業所が大雨による水害に見舞われたが、今年度はその教

訓を生かしながら各事業所で作成した自然災害発生時業務継続計画に則り訓練を実施していきたい。

特養八橋は開設16年目となり、食事用の配膳者や特別浴槽が年劣化で今年度の購入が必要であるため予算計上をしている。

昨年より地域貢献事業の一環として「シニアサポートセンター桜」の運営は、今年度も行っていくこととしたい。クロッセの中の一隅にあるため、ビルの外に向かったの宣伝はしづらいが、今年はまだ少しピーアールしていきたい。

この度の報酬改定で介護報酬が若干上がるが、物価も高騰しており、給食材料費などは昨年に引き続き値上げ交渉をされている状況である。収入支出のバランスを取りながら、職員一丸となってサービス向上に努め、健全な経営を行っていくこととする。

## 2. 法人基本理念

- 一、尊重と和 (お互いの個性を認め合い、なごやかなあたたかさを)
- 一、感謝と礼節 («ありがとう»の気持ちを言葉と態度で)
- 一、公平と思いやり (品性のある正義と慈愛をもって)
- 一、奉仕の心 (尽くして求めず、社会に貢献していきます)

## 3. 「アクションプラン2025 (社会福祉法人行動指針)」

1. 経営者としての役割
2. 組織統治 (ガバナンス) の強化
3. 健全で安定的な財務基盤の確立
4. コンプライアンス (法令等遵守) の徹底
5. 人権の尊重
6. 包括的支援の充実・展開
7. サービスの質の向上
8. 安心・安全の環境整備
9. 地域共生社会の推進
10. 信頼と協力を得るための積極的なPR
11. 中長期的な人材戦略の構築
12. 人材の採用に向けた取組の強化
13. 人材の定着に向けた取組の強化
14. 人材の育成に向けた取組の強化

## 4. 今年度の法人目標

「本当に最優先するものは何か? そのためには何をすべきか?  
日ごろから考えておきましょう」

## 5. 理事会・評議員会等の開催予定

令和6年 6月未定日	令和5年度事業報告・会計決算報告等（理事会）
令和6年 6月未定日	令和5年度事業報告・会計決算報告等（評議員会）
令和6年 10月未定日	定期理事会
令和7年 3月未定日	令和7年度事業計画・会計予算案等（理事会）

## 6. 監事監査の実施予定

令和6年 5月未定日	令和5年度事業・会計決算
------------	--------------

# 令和6年度事業計画書

介護老人保健施設 桜の園

## 1. 施設運営・処遇等方針

令和6年度の介護報酬改定に伴い、制度に沿った確実な対応・体制を整えると共に、多職種連携を深め施設全体での在宅復帰超強化型の維持やターミナルケアの取組みを継続し進めていきたい。

また、介護保険制度改正の中で協力医療機関との連携体制の構築の見直しを行うことが義務付けられ、今後ますます医療と介護の連携が必要となっていくことや今年度より義務化された実施項目に虐待の防止に係る措置を講ずること、災害や感染症に係る業務継続計画の策定等々、それぞれに委員会の開催、研修や訓練が必須とされ、取り落としのないよう各々の役割に責任を持って実行していきたい。

### (1) 在宅復帰支援

在宅復帰超強化型を維持していく。令和6年度介護報酬改定により、入所前後訪問の件数割合率が上方修正となったため、関係各所との交流を図りつつ適切に対応していきたい。ご本人、ご家族が在宅復帰後の具体的なイメージを持てるよう、自立支援・重度化防止に向けた支援を行う。また、介護支援専門員と情報共有を密に行い、在宅復帰後のスムーズな介護サービス利用に繋がるよう努めていく。

### (2) 保健衛生と感染症対策

ご利用者の安全・安心した生活を確保するため、日頃の健康状態の把握に努める。感染対策マニュアルに沿って、予防対策・環境整備を継続していく。また、感染症発生時は、業務継続計画に則り、協力医療機関との連携を基に適切な対応を迅速に行っていく。

### (3) 在宅生活に対応したリハビリテーションの提供

入所3月以内のご利用者に対し、毎月のADL等の評価・計画見直し等重点的なリハビリを行い、生活機能の回復・向上に繋げる。専門職としての視点を持ち、利用者一人ひとりと日々向き合い、在宅復帰に向けたリハビリテーションの提供を行っていく。

### (4) 入所率の増加

協力医療機関・関係各所との情報交換により、相談件数の高水準を維持し、事前情報を基に確実な入所へ繋がるよう努めていく。

### (5) 療養食の提供

ご利用者の栄養状態を常に把握し、栄養管理に努めるとともに、個々の嗜好の多様化するニーズに寄り添えるよう研鑽していく。低栄養状態のご利用

者に対し、ミールラウンドを週3回以上行い、栄養状態の適切な管理・支援を行っていく。

(6) 職員の教育・スキルアップ

介護職員に対するオンライン研修や内部研修・関連団体による外部研修への積極的な参加を行い、外国人技能実習生を含め、新卒採用者や中途採用者も高いレベルの介護技術を会得するため、人事考課用に作成した業務標準をベースに、介護技術の基準の再確認と伝達を行っていく。

(7) 地域に根ざした施設

家族や地域住民への地域貢献活動と市町村自治体や各種事業者、保健・医療・福祉機関などと連携し、地域と一体となったケアを積極的に行っていく。  
また、評価・情報公開を積極的に行い、サービスの向上に努めていく。

2. 入所者

100名（定員）

3. 利用日・利用時間

（入所）24時間365日サービス提供

4. 職員体制・勤務体制等

職員体制

（入所）	施設長（医師）	1名
	看護師	10名
	介護員	34名
	作業療法士	5名
	理学療法士	1名
	支援相談員	3名
	管理栄養士	2名
	介護支援専門員	1名

勤務体制

（入所）	日勤	午前 8：30	～	午後 5：30
	夜勤	午後 5：00	～	午前 9：00
	早番	午前 6：30	～	午後 3：30
	準早番	午前 7：00	～	午後 4：00
	遅番	午前 10：00	～	午後 7：00

5. 年間行事

別紙のとおり

6. その他（建物改修、設備、備品等購入等）

## 令和6年度年間行事等実施計画

介護老人保健施設 桜の園

項目 月	行		事		職員研修・勉強会等		災害訓練		健康管理・衛生管理		その他	
	日	年間行事	日	月間行事	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容
4月		お花見レク		さくらカフェ 誕生会		各委員会目標提出 各委員会話し合い				感染予防勉強会		
5月		ドライブツアー		誕生会 さくらカフェ		勉強会・研修 各委員会話し合い						日赤看護実習受け入れ
6月				誕生会 さくらカフェ		勉強会 AED講習会 各委員会話し合い				職員健康診断		日赤看護実習受け入れ
7月		夏祭り		誕生会 さくらカフェ		勉強会 研修 各委員会話し合い		消防訓練 BCP(災害)訓練		感染対策勉強会 BCP(感染)訓練		秋大看護実習受け入れ
8月		竿灯来園		誕生会 さくらカフェ		接遇勉強会 研修 各委員会話し合い				感染対策勉強会 利用者健康診断		日赤看護実習受け入れ
9月		敬老会		誕生会 さくらカフェ		勉強会 AED講習会 各委員会話し合い						
10月		ドライブツアー		誕生会 さくらカフェ		勉強会 研修 各委員会話し合い		消防訓練 BCP(災害)訓練		感染症予防対策強化 および勉強会 BCP(感染)訓練		
11月		きりたんぽ会		誕生会 さくらカフェ		勉強会 研修 各委員会話し合い				利用者、職員インフルエンザ予防接種 施設内大清掃		
12月		忘年会 餅つき		誕生会 さくらカフェ		勉強会 研修 各委員会話し合い				職員健康診断		

1月	梵天訪問 新年会	誕生会 さくらカフェ	勉強会 研修 各委員会話し合い			感染対策勉強会		
2月	節分行事	誕生会 さくらカフェ	勉強会 研修 各委員会話し合い					
3月	ひなまつり会	誕生会 さくらカフェ	勉強会 研修 各委員会話し合い					

# 令和6年度事業計画書

桜の園 通所リハビリテーション

## 1. 運営・処遇（支援）等方針

令和6年度は介護報酬改定が行われるが、今回は感染症や災害等でもご利用者に対するサービスの提供を継続的に実施するためと非常時の体制で早期の業務再開を図るための計画（以下「業務継続計画」という。）を策定し、それに沿った必要な措置を講じ、策定後でも定期的な見直しと必要に応じては変更を行うこととし、新型コロナウイルス感染症は、5類へと位置付けられたが、感染症の業務継続計画でも平時の備え・初動対応・感染拡大防止体制の確立など求められるため、災害時も合わせて職員に対しては、業務継続計画を周知するとともに研修・訓練を定期的実施することが義務化されることとなる。

近年は、突然の大雨や猛暑など営業を休止するか、時間短縮にするか等の判断を迫られるような自然現象の変化を感じざるを得ない。ご利用者や職員の安全を守ることを念頭に置き速やかに判断できるように努めていきたい。

通所リハビリの今年度の目標としては「①今、何を修正していくべきか？習慣化している事、惰性で行っていることを常に見直して、より良いサービスにつなげていくように取り組む。②相手に対し思いやりの気持ちを持ち、サポートしあえる環境を作る。」を掲げた。介護報酬改定もある中で、新たな視点を持ち今の時代に合ったリハビリ・ケアを提供する事、(PDCA サイクル推進) そのために研修や勉強会も開催していく。対外業務・内部業務ともに、子育て中の職員の突然の休みにもカバーしあえる体制を継続していく。

新規ご利用者については、ここ数年は重度者であっても中間施設を利用せず、病院から直接自宅に戻られ在宅サービスを利用されるケースが増えている印象である。介護を初めて経験することになるご家族や、疾病等で介助が必要となってしまった方、両サイドを支援する通所リハビリテーションの役割をしっかりと果たしていきたい。年間の新規ご利用者の目標は50件としているが、重度の方でも安心して利用できるよう丁寧に取り組んでいきたいと考える。

## 2. 利用者定員

定員 40名 (1日)  
(大規模型 通所リハビリテーション)

## 3. 営業時間

月曜日～土曜日 8:30～16:30 (7時間以上8時間未満)  
(休日: 毎週日曜日、年末年始の12月31日～1月3日)

## 4. 職員体制・勤務体制等

管理者 (医師)	1名	
看護師	1名	8:00～17:00
作業療法士	3名	
介護員	11名	

職員合計 計 16名

## 5. 年間行事計画、職員研修、職員会議、予定別紙のとおり

## 6. その他 (建物改修、設備・備品等購入等)



## 令和6年度年間行事等実施計画

桜の園 通所リハビリテーション

項目 月	行		事		職員研修・職員会議等		災害訓練		健康管理・衛生管理		その他	
	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容
4月				外出訓練（ドライブ） お楽しみランチ		リハビリテーション会議				手指消毒・手洗い マスク着用		
5月				外出訓練（ドライブ） お楽しみランチ								
6月				お楽しみランチ								
7月		夏祭り		外出訓練（ドライブ） お楽しみランチ								
8月				お楽しみランチ								
9月		敬老会		お楽しみランチ								
10月				外出訓練（ドライブ） お楽しみランチ								
11月				外出訓練（ドライブ） お楽しみランチ								
12月		忘年会		お楽しみランチ						インフルエンザ 予防接種確認		
1月				お楽しみランチ								
2月		節分		お楽しみランチ								
3月				お楽しみランチ				土砂・水害の避難訓練 （老健合同）				

※その他として退院前カンファレンス参加、サービス担当者会議参加、居宅訪問（OT）は必要時実施。利用判定会議は新規利用予定に合わせて実施。

※年間通して感染予防対策実施。

※随時案内に合わせて研修参加。

※外出訓練等実施（スーパー、バス、駅、等、市内巡り）

## ■令和6年介護報酬改正の概要（通所リハビリ関係項目）

「地域包括ケアシステムの深化・推進」「自立支援・重度化防止に向けた対応」「良質な介護サービスの効率的な提供に向けた働きやすい職場づくり」「制度の安定化、持続可能性の確保」を基本的な視点として介護報酬改定が実施される。なお、今回は通所リハビリテーションの改定時期について令和6年6月を予定されている。

◎基本報酬の見直し：リハビリテーションマネジメントを実施する体制等が充実している事業所を評価する観点より大規模型事業所のうち、次の要件を満たす事業所については通常規模型と同等の評価を行う。i) リハマネ加算の算定率が利用者全体の80%を超えている ii) リハ専門職の配置が10：1以上であること ➡**算定予定（大規模型より各介護度38～67単位高報酬となる）**

◎医療機関のリハビリ計画書の受け取り義務化：入院中に医療機関が作成したリハビリ計画書等を入手し、内容を把握すること ➡**算定予定（600単位加算（当該退院につき1回））**

◎リハビリテーションマネジメント加算の見直し：リハビリテーション・口腔・栄養の一体的取組の推進として新たなマネジメント加算が加わる。 ➡**人員配置的に実施できるか、また必要性の有無を検討する**

◎介護予防サービスにおけるリハビリテーションの質の向上に向けた評価：定期的なリハビリテーション会議によるリハビリテーション計画の見直しを行い、LIFEへリハビリテーションのデータを提出。PDCAサイクルを推進する場合は減算を行わない ➡**実施予定**

◎科学的介護推進体制加算の見直し：LIFEのデータ提出頻度が「6か月から1回」から「3ヶ月に1回」へ ➡**実施予定**

# 令和6年度事業計画書

特別養護老人ホーム八橋

## 1. 運営・処遇（支援）等方針

### 施設目標

「入居者様は主役」であり「職員は、脇役」である。

入居者様の「生活リズム」に合わせたケアを百パーセント行いましょう。

令和6年度は、介護報酬改定の結果、1.59%プラス改定となります。加算によって評価する見直しが増えています。加算算定に伴う基準、要件、解釈等が以前にも増して難解になっております。改定を踏まえ、医療との連携や機能訓練・口腔栄養の一体的推進といった効果のある具体的な方策に加え、BCP策定、虐待防止措置、認知症のチームケア等体制強化を図り実行していきます。

また、2025年に団塊の世代800万人全員が75歳以上となり、高齢者人口が増え続け、介護人材の不足が問題視されています。

今年度は、多様化するニーズに対応するために、入居者の生活リズムに合わせたケアを行い、職員の資質の向上に取り組みます。

### (1) 稼働率の向上

- ・目標稼働率97%達成のため、常に入居優先順位を確定し、空床発生前に家族の意向を確認し、空床期間の短縮を図ります。

### (2) 口腔ケア

- ・介護、看護、協力医療機関及び協力歯科医院との連携を図り、口腔内の清潔を保つことや口腔ケアの技術向上を図ることで、誤嚥性肺炎のリスクを軽減します。
- ・年に2回介護職が歯科医師もしくは歯科医の指示を受けた歯科衛生士の技術的助言・指導をうけ、口腔衛生管理に努めます。

### (3) 入居者の立場にたち、入居者の生活リズムに合わせたケア

- ・その人らしく生きるということに重きを置き、認知症に関する研修の参加や施設内研修として事例検討を行うなど認知症の理解を深め、対応力を高めます。
- ・インフルエンザ、コロナの感染等が懸念されるので、地域等の行事に参加がむずかしいことがあります。入居者の精神的不安を軽減できるよう施設内行事を企画します。また、定期的に毎月「おたより」を家族に送付します。
- ・入居の満足度調査を年2回以上実施し、ケアの質の向上に努めます。
- ・歌や体操等レクリエーション活動を行い、入居者のニーズに対応します。また、セラピスト（OT・PT）による専門的なりハビリテーションを行い自立支援や重度化防止に取り組みます。
- ・入居者の尊厳を尊重したケアに努め、身体拘束廃止委員会（毎月）高齢者虐待防止対策委員会（3ヶ月に1回）を開催し、身体拘束・虐待ゼロに取り組みます。

#### (4) 職員研修

- ・各委員会（身体拘束廃止、感染症予防、褥瘡予防、事故防止 BCP等）による施設内研修会や勉強会、内部研修（eラーニングツールの活用）・外部研修を行い、職員自らが学ぶことにより資質の向上を図ります。

#### (5) 看取りケア

- ・入居者・家族との話し合いを行い、入居者本人の意思決定を大切にし、嘱託医や協力病院との連携を深め、人生の最終段階における医療ケアを進めます。

- ・また、入居者・家族の意思決定は、変わることもあるので、話し合いを繰り返し行い情報の共有に努めます。

- ・看取りケアに関する研修を深め、看取りケア委員会で、携わる関係者が共通した意識を持ち、ケアを行います。

- ・また、「その人らしさ」を大切にし、本人や家族の想いに寄り添い、安らかな最期が迎えられるように、本人、家族、嘱託医等、多職種との連携・協議を図りながら、本人や家族の尊厳を支える看取りを行います。

#### (6) 防災対策

- ・災害等の非常事態においても、入居者に必要なサービスを安定的・継続的に実施するためのBCPを策定し、災害発生時に入居者をスムーズに避難・誘導できるよう体制を整備します。

- ・町内会や関係機関と連携を強化し、地震・火事・水害等を想定した防災訓練や消防設備器具などの点検を定期的実施します。

#### (7) 健康管理

- ・看護職員と介護職員・機能訓練指導員（OT・PT）が連携し、日常的な健康管理や運動、個別での機能訓練などを行い、生活動作などの維持向上に努めます。

- ・嘱託医との連携を密に行い、入居者の状態把握・情報の共有など医療管理に努めます。

- ・入居者の身体的・精神的状態を観察し、体調不良を早期発見し、多職種で情報を共有し、連携して入居者の健康維持・心身機能の維持向上を図ります。

#### (8) 事故防止

- ・「インシデント」の報告と事故報告に対して分析と検討を行い、事故防止に努めます。

- ・事故のリスク軽減を図り24時間シートを作成し、入居者にとって安全・安心な環境の提供を行います。

#### (9) 感染症対策

- ・感染症について、BCPやマニュアルの徹底、見直しを随時行うことで、予防に努め、発生時には、「随時対策委員会」を開催し、拡大防止に努めます。

- ・また、発生を想定したシミュレーションの実施・訓練など施設全体で感染症対策の強化を図ります。

2. 入所者定員  
入 所 60名

3. 利用日・利用時間  
利 用 日 3 6 5 日  
利用時間 2 4 時間

4. 職員体制・勤務体制等

(職員体制)

看護師・生活相談員・作業療法士・介護職員・管理栄養士などのスタッフが、サービスを提供いたします。また、10人単位のユニットケアを取り入れ、顔なじみの職員と「その人らしさ」をいかして暮らせる施設です。

(勤務体制)

介護職 早番7:00～16:00 遅番13:00～22:00 夜勤22:00～7:00  
看護職 早番7:30～16:30 日勤 8:30～17:30 遅番10:00～19:00

5. 年間行事計画、職員研修、職員会議、災害訓練、健康診断等予定  
別紙のとおり。

6. その他(建物改修、設備・備品等購入等)

特別浴槽 1台  
配膳車 2台

# 令和6年度年間行事等実施計画

特別養護老人ホーム 八橋

項目 月	行 事		職員研修・職員会議等		災 害 訓 練		健康管理・衛生管理		そ の 他			
	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容		
4月		お花見		誕生会	月1	職員会議（第3週） チーフ会議 施設内勉強会（第3水）	中 旬	防災訓練・BCP自然災害 訓練・消防設備点検				事故対策・排泄・感染予防・ 教育・給食・行事・身体拘束・ レクリエーション委員会
5月		母の日 散歩等		〃		〃						〃
6月		買い物 合同喫茶等		誕生会、父の日 中庭での園芸		〃		BCPコロナ訓練		利用者 健康診断 (採血)		〃
7月		七夕 夏祭り		誕生会		〃		口腔ケア研修				〃
8月		地域交流八橋夏まつり		〃		〃						〃
9月		敬老会 合同喫茶 地域交流コスモスまつり		〃		〃				インフルエンザ <sup>※</sup> 予防注射 接種者確認 結核検診 コロナワクチン接種		〃
10月		コスモスロードツアー 紅葉ドライブ		誕生会 買い物レク		〃		防災訓練（夜間） BCP自然災害訓練 消防設備点検		感染症予防対策強化		〃
11月		食事楽しみ会  合同喫茶 寿司会 紅葉ドライブ（第1週）		誕生会  年賀状の作成		〃				インフルエンザ <sup>※</sup> 予防注射 隔離室準備（感染症対策）		〃
12月		年忘れ会（全体） クリスマス きりたんぼ鍋づくり		誕生会 正月の飾りつけ		〃		BCPコロナ訓練		インフルエンザ <sup>※</sup> 予防注射		〃
1月		新年祝賀会		誕生会 書初め		〃		口腔ケア研修				〃
2月		節分（全体）		誕生会		〃						〃
3月		ひなまつり（全体）		〃		〃				コロナワクチン接種		〃

# 令和6年度事業計画書

グループホーム さくら

## 1. 運営・処遇（支援）等方針

令和6年度の運営・処遇方針として、法人目標である『本当に最優先するものは何か？そのためには何をすべきか？日ごろから考えておきましょう』について、感染症や災害等非常時が常時として起こりうる時代の中で、私生活でも仕事の面でも咄嗟の判断が必要になることが多くなり、日ごろから考えて行動できるようにしていく。

また、事業所目標である『ご利用者の「今」に応えられる、柔軟な対応力を身につける、客観的に自分自身と向き合う』については、どうしても主観的になってしまうことが多い日々の中で、本当に自分の考えや行動は正解なのか、自分自身を客観視できるようになることで「今」何をすべきなのか判断を間違わずに行い、ご利用者の「今」の気持ちに寄り添うケアを実現していくことを目標とする。

当グループホームは、平成15年の開設以来皆様のご愛顧によりほぼ満床で推移してきており、稼働率100%を目指すことができる事業所と捉えているが、入院等による一時退所でなかなか難しいところである。観察を怠らず早期発見早期受診を心掛け、入院を防ぐなどの対応をしながら、また重度化になった場合には早めに次の方向性を考えていくなどの対策を講じていきたいと思う。前年度に引き続き、意識して取り組んでいきたい。

職員の研修に関しては、介護保険上決められた内部研修の他に外部研修にも可能な限り参加を促し、研鑽を積んでもらいたい。そして、参加した職員による研修報告により研修内容を共有し、職場内のスキルアップを図っていききたいと考える。

## 2. 入所者定員

定員 18名 (A棟 9名 ・ B棟 9名)

## 3. 利用日・利用時間

24時間 365日

## 4. 職員体制・勤務体制等

管理者（介護員兼務）	1名	早番	7：00～16：00
A棟計画作成担当者兼チーフ	1名	日勤	8：30～17：30
（介護支援専門員、介護員兼務）		遅番	11：00～20：00
B棟計画作成担当者	1名	夜勤	17：00～ 9：00
（介護支援専門員、介護員兼務）			
職員A棟（管理者含む）	8名		
職員B棟	7名		
職員合計	15名		

※医療連携看護師4名（桜の園看護師）

※ご利用者3名につき1名以上の職員配置。日中1ユニット9名の利用者に対し、各ユニット3名以上の日勤職員配置。夜間は1ユニット9名の利用者に対し、各棟1名ずつの夜勤職員配置。

## 5. 年間行事計画、職員研修、職員会議、災害訓練、健康診断等予定

別紙のとおり

## 6. その他（建物改修、設備・備品等購入等）

令和6年度年間行事等実施計画

グループホームさくら

項目 月	行		事		職員研修・職員会議等		災害訓練		健康管理・衛生管理		その他	
	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容
4月		桜花見ツアー（随時）		S氏・T氏誕生会 Y氏誕生会		A・Bカンファレンス チーフカンファレンス オンライン研修		消防設備定期点検 防災・避難訓練 BCP訓練		虐待身体拘束適正化委員会、感染対策委員会 医療連携（桜の園NS）		ケアプラン確認 運営推進会議
5月		母の日				A・Bカンファレンス チーフカンファレンス オンライン研修				医療連携（桜の園NS） 健康診断		保育園交流 （開催未定）
6月		父の日		T氏誕生会		A・Bカンファレンス チーフカンファレンス		防災・避難訓練 BCP訓練		職員健康診断 医療連携（桜の園NS）		運営推進会議
7月		七夕		A氏誕生会		A・Bカンファレンス チーフカンファレンス				虐待・身体拘束適正化委員会 医療連携（桜の園NS）		保育園交流 （開催未定）
8月		さくら夏祭り		S氏、F氏 S氏誕生会		A・Bカンファレンス チーフカンファレンス オンライン研修				感染対策委員会 医療連携（桜の園NS）		運営推進会議
9月		ぶどう狩り 敬老会		T氏、O氏 O氏誕生会		A・Bカンファレンス チーフカンファレンス				医療連携（桜の園NS）		保育園交流（未定）
10月		紅葉狩り なべっこ会		S氏誕生会		A・Bカンファレンス チーフカンファレンス オンライン研修		消防設備定期点検		虐待身体拘束適正化委員会、感染対策委員会 医療連携（桜の園NS）		ケアプラン確認 運営推進会議
11月		紅葉狩り				A・Bカンファレンス チーフカンファレンス オンライン研修		防災・避難訓練 BCP訓練		インフルエンザ予防接種 肺炎球菌予防接種（希望者） 医療連携（桜の園NS）		保育園交流 （開催未定）
12月		クリスマス会&忘年会 もちつき		M氏誕生会		A・Bカンファレンス チーフカンファレンス				職員健康診断 医療連携（桜の園NS）		運営推進会議
1月		お正月 初詣		H氏誕生会		A・Bカンファレンス チーフカンファレンス オンライン研修				虐待・身体拘束適正化委員会 医療連携（桜の園NS）		
2月		節分 バレンタイン		K氏誕生会		A・Bカンファレンス チーフカンファレンス				医療連携（桜の園NS）		運営推進会議
3月		ひな祭り ホワイトデー		O氏、S氏誕生会 K氏誕生会		A・Bカンファレンス オンライン研修 チーフカンファレンス		防災・避難訓練 BCP訓練		医療連携（桜の園NS）		



- ※ 身体拘束適正化委員会とリスク委員会を合わせて、新しく虐待・身体拘束適正化委員会とする。2024年より義務化。
- ※ 秋田市GH連絡会は役員のため2ヶ月に1度理事会参加（偶数月）、その他2ヶ月に1度の研修随時参加（奇数月）。感染拡大期は中止。
- ※ その他外部研修は随時案内を参考に参加。オンライン研修継続させたい。
- ※ 理事長カンファレンス適時実施。感染期は中止。
- ※ 外部評価実施年
- ※ 健康管理面は、毎週火曜日の遠山医院往診にて主治医の診察継続。主治医が遠山先生以外の方の定期受診やその他の受診介助は随時。
- ※ 災害対策訓練については、避難訓練（夜間想定2回）の他、日中想定1回以上、災害（水害、地震、土砂）等を想定した訓練を1回以上行う。
- ※ BCP(業務継続計画)に沿って、災害・感染症の訓練を各年2回実施する。
- ※ さくら勉強会については、業務外として2ヶ月に1度開催し、自己研鑽として参加を促す。感染状況をみて開催を検討する、現状では感染拡大の為中止している。
- ※ 民謡・童謡・唱歌ボランティア（遊学舎サークル）については、年間行事として年2回の依頼を承諾していただいたため、春と秋に行う予定。  
コロナウイルス感染対策の為、開催を随時検討しながら行う。現状では、中止している。
- ※ コロナワクチン接種については、情勢をみて法人・ご家族と相談しながら決定していく
- ※ 家族会については、ケアプランの確認として予約制としスケジュールリングを行い、各家族個別で行っていく。

※ （建物改修、設備・備品等購入等）

※

状況に応じ、法人本部事務局長と相談をしながら、必要に応じて随時起案にて対応

- ・B棟と老健3号棟の間にある、木で囲われた立ち入り禁止の木材が経年の為崩れてきており危険な為、撤去及びその後の対策を必要とする。
- ・外部評価で指摘のあった、非常口の設置の検討が必要。
- ・職員用の食堂で使用する木製の丸椅子が老朽化してしまっている為、購入が必要。
- ・居室使用の加湿器が10年目の使用となり、不具合が出てきている為新しい物の購入が望ましい。床暖使用の為、乾燥がひどい状況である。

# 令和6年度事業計画書

小規模多機能型居宅介護 幸の家

## 1. 運営・処遇（支援）等方針

今年度は「ご利用者が日々安心して暮らせるよう些細な変化を察知し、共に考え、都度最良の支援を提供していく」を事業所目標に掲げ、稼働率95%の達成を目指していきます。

ご利用者の多くは我々スタッフへ対する遠慮やご自身のプライドもあり、実際の気持ち・願いをそのまま伝えて頂くことがなかなかありません。なかでも認知症の方は、ご自分の思いを正確に表現することが難しく、上手く伝えられないことも少なくありません。そこで、職員が『観る』『聴く』『感じる』の一つ一つを丁寧に行い固定概念に囚われず、その方の表情や声の調子、姿勢や仕草など様々な情報を集め、それらをスタッフ間で共有し、その方の求めるものが何なのかを見つけ出していくことで、その時その方へ最適な支援提供ができるのだと思います。それが叶えばご利用者の満足感に繋がり、スタッフや事業所に対する安心感をも高めることができます。そして同時に、事業所全体の質の向上を図ることができると考えています。

## 2. 利用者定員

登録者	29名
通い定員（一日）	18名
宿泊定員（一日）	8名

## 3. 利用日・利用時間

利用日	365日
利用時間	24時間

## 4. 職員体制・勤務体制等

管理者	1名	日勤	8：30～17：30
副管理者	1名	早番	6：30～15：30
介護支援専門員	1名	遅番	10：00～19：00
看護師	1名	夜勤	17：00～ 9：00
介護	9名	自宅待機者	
調理員	2名		

※看護師以外全職種介護員兼務

## 5. 年間行事計画、職員研修、職員会議、災害訓練、健康診断等予定

別紙のとおり

## 6. その他（建物改修、設備・備品等購入等）

特になし

## 令和6年度年間行事等実施計画

小規模多機能型居宅介護 幸の家

項目 月	行		事		職員研修・職員会議等		災害訓練		健康管理・衛生管理		その他	
	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容
4月		誕生会 お花見（桜）				スタッフ会議 勉強会・研修		防災教育				
5月		誕生会 つつじ見				スタッフ会議 勉強会・研修		避難訓練				運営推進会議
6月		誕生会				スタッフ会議 勉強会・研修				職員健康診断		
7月		誕生会 七夕祭り				スタッフ会議 勉強会						運営推進会議
8月		誕生会 夏祭り				スタッフ会議 勉強会・研修						
9月		誕生会 敬老会				スタッフ会議 勉強会						運営推進会議
10月		誕生会 なべっこ				スタッフ会議 勉強会・研修		避難訓練				
11月		誕生会 紅葉狩り				スタッフ会議 勉強会				インフルエンザ 予防接種		運営推進会議
12月		誕生会 クリスマス・忘年会				スタッフ会議 勉強会・研修				職員健康診断		
1月		誕生会 初詣、新年会				スタッフ会議 勉強会						運営推進会議
2月		誕生会 節分				スタッフ会議 勉強会・研修						
3月		誕生会 ひな祭り				スタッフ会議 勉強会						運営推進会議

# 令和6年度事業計画書

訪問看護ステーション 幸

## 1. 運営・処遇（支援）等方針

### 事業所目標：月間訪問件数を平均 55 件／人をめざす

#### 【理由】

➤利用者様の入院などで登録者数が減少しての新年度スタートとなるが、今までの実績やスキルを活かしながら利用者数の確保をしていき、個々が訪問件数を意識し安定的な経営を目指してもらうため。

#### 【具体策】

- ① 連休中も勤務調整しながらできる限り訪問対応する。
- ② 新規利用者受け入れの調整を継続する。
- ③ 事業継続できるように気を緩めることなく引き続き感染対策に取り組み、業務が滞らないようにする。
- ④ 職員が研修を受けることで自己研鑽に励む事ができ、また介護報酬の改定に伴い加算の算定要件など変更点について周知し各職員が目標を意識する事で質の高い看護を提供する事ができる。

## 2. 利用者定員 2月末現在

登録者	現在	69名
内訳	看護	48名
	リハビリ	21名

## 3. 利用日・利用時間

利用日 月曜日～金曜日（祝日、12月29日から1月3日を除く）  
利用時間 8：30～17：30  
24時間対応体制

## 4. 職員体制・勤務体制等

管理者兼看護師	1名
看護師	5名（うちパート1名）
作業療法士	2名（うち副管理者1名）
理学療法士	1名

## 5. 年間行事計画、職員研修、職員会議、災害訓練、健康診断等予定

【外部研修】 新人向け： 訪問看護基礎講座、訪問看護e-ラーニング  
加算要件： 精神障害者の在宅看護セミナー  
その他： 神経難病、退院調整、管理者セミナー、看取り など

※外部研修は新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じて参加

※一部別紙のとおり

ST内勉強会 認知症、看取り、救命救急、感染対策などを予定  
BCPに沿って訓練をおこなう

## 6. その他（建物改修、設備・備品等購入等）

#### 【書籍】

訪問看護業務の手引き、訪問看護関連報酬・請求ガイド、訪問看護と介護

## 令和6年度年間行事等実施計画

訪問看護ステーション 幸

項目 月	行		事		職員研修・職員会議等		災害訓練		健康管理・衛生管理		その他	
	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容
4月						スタッフ会議 ST内勉強会						
5月						スタッフ会議 研修						
6月						スタッフ会議 ST内勉強会		BCP感染症訓練				
7月						スタッフ会議 研修						
8月						スタッフ会議 ST内勉強会						
9月		看護学生実習（日赤）				スタッフ会議 ST内勉強会						
10月		看護学生実習（日赤）				スタッフ会議 ST内勉強会		BCP災害訓練				
11月						スタッフ会議 研修				インフルエンザ 予防接種		
12月						スタッフ会議 ST内勉強会				職員健康診断		
1月						スタッフ会議 研修						
2月						スタッフ会議 ST内勉強会						
3月						スタッフ会議 ST内勉強会		防災訓練				

# 令和6年度事業計画書

桜の園 居宅介護支援事業所

## 1. 運営・支援等方針

令和6年度の事業所目標

- ・全員が勤務継続計画について把握し、命を最優先にして行動できるよう備える。
- ・地域や関係機関との信頼関係構築に努め、居宅利用者数170名を目指します。

当事業所では、ご利用者が可能な限り在宅生活を営むことができるようにご利用者に対し、適切な居宅サービスを作成し、居宅サービスの提供が確保されるようサービス事業者・関係機関との連絡調整を行っていきます。

業務継続計画について定期的に見直しや訓練を行い、命を最優先にして行動できるよう備えます。

また、ケアプラン作成においても、より多くのご利用者のご紹介をいただけるよう、地域・関係機関との信頼関係を築いていきたいと思っております。

## 2. 営業時間

月曜日～金曜日 午前8時30分～午後5時30分

休業日：12月29日～1月3日

※ 携帯電話対応により24時間365日連絡が可能。

## 3. 職員体制

管理者（主任介護支援専門員兼務）	1名（常勤）
主任介護支援専門員	2名（常勤）
介護支援専門員	4名（常勤3名、非常勤1名）

## 4. 職員研修、勉強会予定

- ・居宅内勉強会（週1回）計48回
- ・地域包括支援センター主催勉強会（年2回）
- ・他法人居宅との合同研修会（年2回/6月・11月）
- ・外部研修（年数回）
- ・虐待防止検討委員会・研修会（年2回）

※居宅内研修会では業務連絡、業務改善、困難事例、新規の報告等行う。

※他法人居宅での勉強会ではケアマネジメントの質の向上を図るため事例検討会等を行う。

# 令和6年度事業計画書

居宅介護支援事業所 幸

## 1. 運営・支援等方針

ご利用者様の意思及び人格を十重し、常にご利用者様の立場に立ったサービス提供を心掛け、心身の特性を踏まえて、その能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう支援していく。また、法人、事業所目標を常に念頭に置き、2025年問題に向けて行われた介護保険制度改定を理解し、すべき事を考え、効率的に一人一人のご利用者に合わせて支援が行えるよう、整理や準備をする年度にします。感染や災害対策、デジタル化、ご利用者を取り巻く多様な環境に対応できるよう努めます。

## 2. 営業時間

月曜日～金曜日 午前8時30分～午後5時30分

休業日 12月29日～1月3日

※ 電話対応により24時間365日 連絡が可能。

## 3. 職員体制

管理者（主任介護支援専門員兼務） 1名（常勤）

## 4. 職員研修、勉強会予定

- ・地域包括支援センター主催勉強会（年4回程度）
- ・法人内部研修（年数回）
- ・外部研修（年4回以上）
- ・虐待防止検討委員会・研修会（年4回）

# 令和6年度事業計画書

## 広面地域包括支援センター桜の園

### 1. 事業計画

月	地域包括支援	高齢者生活支援体制整備事業	認知症地域支援事業
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアマネサロン</li> <li>・お出かけ えんジョイ(桜ウォーク)</li> <li>・BCP研修</li> <li>・介護予防教室</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議体会議「花筏会」</li> <li>・野菜作り同好会</li> <li>・横森市営住宅サロン</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症予防教室</li> </ul>
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアマネサロン</li> <li>・お出かけえんジョイ(わらび・鶺鴒)</li> <li>・介護予防教室</li> <li>・けあカフェ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野菜作り同好会</li> <li>・近場を探ろう</li> <li>・横森市営住宅サロン</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・けあカフェ</li> <li>・認知症予防教室</li> </ul>
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアマネサロン</li> <li>・広報誌発行</li> <li>・出前包括</li> <li>・介護予防教室</li> <li>・民生児童委員協議会定例会参加(桜地区)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議体会議「花筏会」</li> <li>・野菜作り同好会</li> <li>・横森市営住宅サロン</li> <li>・広報誌発行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報誌発行</li> <li>・認知症予防教室</li> </ul>
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアマネサロン</li> <li>・出前包括</li> <li>・介護予防教室</li> <li>・地域ケアネットワーク会議</li> <li>・けあカフェ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野菜作り同好会</li> <li>・近場を探ろう</li> <li>・横森市営住宅サロン</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・けあカフェ</li> <li>・アタマとカラダの健康教室 (市の委託事業)</li> <li>・認知症予防教室</li> <li>・カフェ月別邸 (認カフェ運営支援)</li> </ul>
8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアマネサロン</li> <li>・介護予防教室</li> <li>・民生児童委員協議会定例会参加(中通地区)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野菜作り同好会</li> <li>・横森市営住宅サロン</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アタマとカラダの健康教室</li> <li>・認知症予防教室</li> <li>・カフェ月別邸</li> </ul>
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアマネサロン</li> <li>・介護予防教室</li> <li>・BCP訓練</li> <li>・出前包括</li> <li>・けあカフェ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議体会議「花筏会」</li> <li>・野菜作り同好会</li> <li>・近場を探ろう</li> <li>・横森市営住宅サロン</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・けあカフェ</li> <li>・アタマとカラダの健康教室</li> <li>・市民向け認サポ</li> <li>・認知症予防教室</li> <li>・カフェ月別邸</li> </ul>
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアマネサロン</li> <li>・介護予防教室</li> <li>・広報誌発行</li> <li>・お出かけえんジョイ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野菜作り同好会、収穫祭</li> <li>・広報誌発行</li> <li>・横森市営住宅サロン</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アタマとカラダの健康教室</li> <li>・広報誌発行</li> <li>・認サポステップアップ講座</li> <li>・認知症予防教室</li> <li>・カフェ月別邸</li> </ul>
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアマネサロン</li> <li>・介護予防教室</li> <li>・東圏域合同ケアマネ研修会</li> <li>・地域ケアネットワーク会議</li> <li>・けあカフェ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議体会議「花筏会」</li> <li>・近場を探ろう</li> <li>・横森市営住宅サロン</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・けあカフェ</li> <li>・認知症予防教室</li> <li>・カフェ月別邸</li> </ul>



月	地域包括支援	高齢者生活体制整備事業	認知症地域支援事業
12月	・ケアマネサロン ・ハンドクラフトの会 ・介護予防教室	・東圏域合同ワークショップ ・横森市営住宅サロン	・認知症予防教室 ・カフェ月別邸
1月	・ケアマネサロン ・介護予防教室 ・金融機関との交流会 ・けあカフェ	・横森市営住宅サロン  わ♡つなぎ(そば)	・けあカフェ ・認知症予防教室 ・カフェ月別邸
2月	・ケアマネサロン ・介護予防教室	・横森市営住宅サロン	・認知症予防教室 ・カフェ月別邸
3月	・ケアマネサロン ・BCP訓練 ・介護予防教室 ・広報誌発行 ・けあカフェ	・広報誌発行 ・協議体会議「花筏会」 ・横森市営住宅サロン  わ♡つなぎ	・けあカフェ ・広報誌発行 ・認知症予防教室 ・カフェ月別邸
		<b>年間通いの場</b> ・ほほえみの会(手芸) ・男の秘密基地 ・うきうきクラブ ・あれそれクラブ ・大平台お茶っこサロン ・桜台クラブ	

## 2. 利用日・利用時間

利用日 月曜日～金曜日 (祝日、12月29日から1月3日を除く)

利用時間 8:30～17:30

24時間対応体制

## 3. 職員体制

管理者兼社会福祉士	1名
保健師	2名
社会福祉士	1名
主任介護支援専門員	1名
認知症地域支援推進員	1名
生活支援コーディネーター	1名

## 4. 職員研修

内部研修	4件
外部研修	10件

# 令和6年度事業計画書

中通地域包括支援センター幸ザ・サロン

## 1. 事業計画

月	地域包括支援	高齢者生活体制整備事業	認知症地域支援事業
4月	秋田市地域包括・在宅介護支援センター連絡協議会 総会・研修会	地区組織・地区自治組織訪問	認知症カフェ準備
5月	ケアマネサロン 広報誌発行	地区組織・地区自治組織訪問	認知症サポーター養成講座
		広報誌発行	広報誌発行
		中通・築山かがやき協議会	
6月	はつらつくらぶ 高齢者運転シミュレーション(男性限定)	地区組織・地区自治組織訪問  お食事サロン	コグニサイズ研修会  中央圏域セーフティネット 研修会
7月	中通包括圏域居宅・サービス事業所合同研修会 はつらつくらぶ ケアマネサロン	地区組織・地区自治組織訪問  男性の主体的活動計画	アタマとカラダの健康教室 ×2 ステップアップ研修  広報活動
8月	中通民児協定例会 事業報告会 はつらつくらぶ 第1回地域ケアネットワーク会議 広報誌発行	地区組織・地区自治組織訪問	アタマとカラダの健康教室 ×2
		広報誌発行	
		中通・築山かがやき協議会	広報誌発行
9月	中央圏域包括・居宅合同研修会 はつらつくらぶ 地域ケア会議(地域課題) BCP定期見直し	地区組織・地区自治組織訪問	アタマとカラダの健康教室 ×2 認知症サポーター交流会
10月	はつらつくらぶ 築山民児協定例会 情報提供 ケアマネサロン 地域ケア会議(個別課題)	地区組織・地区自治組織訪問	アタマとカラダの健康教室 ×2 中央警察署タイアップチラシ配布  東警察署管内包括合同 声掛け模擬訓練
11月	はつらつくらぶ 第2回地域ケアネットワーク会議 広報誌発行	地区組織・地区自治組織訪問	広報誌発行
		広報誌発行	
		中通・築山かがやき協議会	

月	地域包括支援	高齢者生活体制整備事業	認知症地域支援事業
12月	はつらつくらぶ ケアマネサロン	地区組織・地区自治組織訪問  お食事サロン	
1月	はつらつくらぶ		
2月	はつらつくらぶ 地域ケア会議(地域課題)	地区組織・地区自治組織訪問  中通・築山かがやき協議会	
3月	はつらつくらぶ ケアマネサロン BCP定期見直し	地区組織・地区自治組織訪問  支えあうまちづくり研修会	支えあうまちづくり研修会

## 2. 利用日・利用時間

利用日 月曜日～金曜日 (祝日、12月29日から1月3日を除く)

利用時間 8:30～17:30

24時間対応体制

## 3. 職員体制

管理者兼保健師	1名
保健師	1名
主任介護支援専門員	1名
社会福祉士	1名
認知症地域支援推進員	1名
生活支援コーディネーター	1名

## 4. 職員研修

内部研修	2件
外部研修	30件(5件/1名 程度)

## 5. サロンを会場とした自主グループ活動

・サムライ倶楽部 毎月2回	・くつろぎカフェ 毎月2回
・ミモザ健康教室 毎月2回	・3B体操 月曜日

## 6. 実習性受け入れ

・赤十字秋田看護大学 ・秋田大学医学部保健学科 ・秋田大学医学部保健師コース